

## 令和6年度 法人本部 事業報告書

社会福祉法人杉の子会

### 1 施設整備事業

杉の子保育園分園園庭整備工事（新晃工務店：1,584,660円）いたしました。

杉の子保育園園庭工事設計契約（こどもみらい：297,000円）いたしました。

太陽の子保育園汚物処理室工事契約（新晃工務店：3,750,000円）いたしました。

### 2 寄附金

中村氏より 100,000円

さんぽ友の会より 400,000円

### 3 会議

理事会 6回（内、3回決議の省略）

評議員会 4回（内、3回決議の省略）

監事会 1回

### 4 その他

機関誌「ふたば」を6月発行しました。

## 2024(令和6)年度 杉の子保育園 事業報告

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計	障害児	一時保育	延長保育
(定員数)	15名	15名	15名	15名	24名		84名			延べ人数
4月	7	12	13	17	17	17	83	8		306
5月	7	12	13	17	17	17	83	8	2	332
6月	7	12	13	17	17	17	83	8	3	353
7月	7	12	13	17	17	17	83	8	12	360
8月	7	12	13	17	16	17	82	8	12	266
9月	7	12	13	17	16	17	82	8	16	302
10月	8	12	13	17	16	17	83	8	14	350
11月	8	12	13	17	16	17	83	8	15	320
12月	9	13	13	17	16	17	85	8	15	276
1月	9	13	13	16	16	17	84	8	16	282
2月	9	13	13	16	16	17	84	8	26	287
3月	10	13	13	16	16	17	85	8	17	271
合計	95	148	156	201	196	204	1,000		148	3705
常勤	2	2	2	2	1	1		職員体制(3月末時点) 園長1、主任1 事務1(3.5h) 用務1(4h)		
非正規7h		1	1							
非正規6h	1									
非正規4h	1(週2)				1					
延長3/5h	1									

4月0歳児の入所児童が7名でスタートできた。00の子やきょうだい入所児、卒園児の子。

幼児では途中転園があり減ると代わりの子を募集してもいない。

### (保育実践)

・4月時点で職員の病休や支援の必要な児童の環境の変化への対応を考慮し、3歳児クラスをホールへ移動をしなかったことで不安を持つことなく新年度を迎えられ、ホールとしても4・5歳児が単にも変わる状況の中、ゆったりと丁寧に2クラスの体制づくりができました。4・5歳児がなれた5月中旬にはホールに合流したことで幼児グループが落ち着いていきました。(3月下旬に決めたのもう少し早くから方針を持てば良かった。)

・異年齢交流は意識的に取り組んできた。特に2歳児の子どもたちが幼児との接点を持つことを秋以降から夕方ホールで遊ぶことを進めたり、3月には次年度は、4月から3歳児はホールでスタートすることを決めてより多くホールに行ったり幼児との接点を多くしていった。3月のクラス移動を例年より早く20日以降には移動し、新1歳児は移行児が早めに新クラスの部屋に移行し少しでも早めになれるよう配慮した。

・1歳児の月例の低い子2名を8月まで0歳児室で生活をし移行していった。1歳児の新入園児の子たちの睡眠に抵抗がある例がおおく、移行児の睡眠保障をすることと合わせ部屋の使い方を試行錯誤しながら取り組んだ。

・分室横を一時駐車場にしていたのを「広場」に変更し、夏のプール遊びは屋上への移動なしで実施でき良かった。その後も日中だけでなく夕方、幼児の外遊びの内容が広がった。鬼ごっこやスケーター。縄跳びなど区切って思い思いに遊べる。公園だとそこから出ていかないか気に掛けないといけないが安心して 戸外で職員も遊ぶことができる。広場の存在はとても大きい。さらに発展させていくこととする。

・年長交流は、法人内では4回持て、夏合宿は昨年からマキノ高原に変更し湖水浴。高原遊び・川遊びと内容が膨らんだ。小田地区内は濱燕・小田南の数箇所と交流ができた。小学校との交流が1・17の訓練参加のため、補助金にも差がつくので 小学校との間で計画を立てての交流が課題。

・うんどうかいは、暑さの厳しい中でも練習が公園を借りずに広場ですることができ移動のしんどさもなく良かった。今年は久々に観客の制限なしでみんな参加のうんどうかいが開催できた。

・3月の祝う会は、一人ひとりの姿をできるだけみんなで見守りたいというコンセプトで1クラスでも多くが集まれるように0・1歳児クラスと2歳児以上を分けて開催。会場の広さの関係で保護者2名までの制限しても。

・幼児クラスで午前中に参観後懇談をする。と参加者も多かった。1月も同じように取り組み取り組んでいる内容の絵本を保護者に読み聞かせをすることをして共通の認識をしてもらうことができたのは良かった。乳児クラスは、参観をし一旦帰宅して午睡中に懇談をするというやり方をした。また、日頃の保育の様子動画やおしらせをコドモンを利用して配信する機会を多くしたことで関心を寄せてもらった。

・配慮の必要な児童について共通認識を持ち対応していくようにケース会議を設けて論議してきた。巡回発達相談で古川先生に来ていただいたのアドバイスが大変ありがたい。

・給食への関心は高く、給食室の職員が保護者と交流する機会を持つことができた。

・ワークショップは、4・5歳児の取り組みで製作の好きな子が自由遊びの際もよく取り組んでいる。夏休みに卒園児向けができ普段IPPOに参加しない子たちが参加できてよかった。

## （子育て支援）

・あそぼう会の開催を火曜日は職員が付き。土曜日はフリーで実施。お知らせビラを線路より北にもまくと参加も増えた。土曜日は園児も来たりしていた。移動動物園を土曜日に実施すると地域の親子参加者。園児の親子参加もあって盛況。あそぼう会にOBのボランティアが来てくれることでお母さんに声を掛ける機会が多く持ち悩み相談など受けやすくなった。保育見学も同日に設けることができ普段の保育園の様子を見てもらうこともできその後あそぼう会への参加につながった。

・子ども相談支援員が、支援の必要な方を見学につき添ってきてくれたり園児の必要な方は連絡を取りながら進めている。

## (研修)

- ・法人内は、職場改善。給食交流。地域子育て支援。夢プロジェクト(園庭委員会)を実施。主任で実践交流を実施しました。夢プロジェクトでは情勢学習(増田百代先生)を実施しました。
- ・4・5月保育セミナーを受講(オンライン)7月兵庫の保育を考える集会は姫路に参加。8月全国合研は熊本1名他オンライン
- ・キャリアアップは各々受講。法人園会研修に参加。たじかの研修にも参加。
- ・主任セミナーは兵庫で開催され実行委員としても参加(主任)。経営懇セミナーの受講(園長)。

実施内容 毎月 月初めに避難訓練。第2水曜誕生会。身体測定は各クラスで実施。

4月	1日(月)入園・進級式。24日(水)1歳懇談。25日(木)2歳懇談。
5月	9日(木)法人5歳交流。14日(火)オモチャライブラリー。15日(水)5歳参観懇談。 22日(水)4歳参観懇談。23日(木)2歳参観懇談。24日(金)4歳ワークショップ。 29・30日(水・木)1歳参観
6月	7日(金)GPM。バースディフェスタ。11日～19日5歳個人懇談。12・13日0歳参観。 17日(月)小児科検診。20日(木)歯科検診。21日(金)5歳ワークショップ。 27日(木)4・5歳星空保育
7月	3日(水)法人5歳交流。耳鼻科健診。8日(月)平和行進。17・18日(水・木)5歳夏合宿INマキノ 19日(金)4歳ワークショップ。
8月	2日(金)小学生OBワークショップ。28～30日(水～金)プール参観。30日(金)夏まつり
9月	7日(土)1年生お里帰り。13日(金)5歳ワークショップ。17日(火)若駒鑑賞。28日(土)移動動物園。
10月	5日(土)うんどうかい。23日(水)法人5歳交流。31日(木)小児科検診。
11月	1日(金)法人5歳交流。8日(金)4歳ワークショップ。14日(木)浜つばめさんと5歳交流。 19日(火)小田地区5歳交流。22日・29日(金)5歳ワークショップ。0～4歳児個人懇談(希望者)
12月	7日(土)おもちゃライブラリー。12日(木)星の集い「若駒」演舞。GPMも招待。 18日(水)4・5歳雪遊び
1月	9日(木)お楽しみ会。17日(木)4歳ワークショップ。杭瀬小学校にて避難訓練22日(水)5歳参観懇談。 23日(木)4歳参観懇談。24日(金)3歳参観懇談。23日(木)4歳参観懇談。24日(金)3歳参観懇談。 31日(金)5歳ワークショップ。
2月	5日(水)1歳懇談。6日(木)2歳懇談。
3月	1日(土)卒園と成長を祝う会。5日(水)GPMおおきくなったねの会。0歳懇談。11日(火)移動動物園 21日(金)お別れ遠足。中学入学おめでとう会

2024 年度 太陽の子保育園事業報告

① 園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計	一時保育	延長保育	障害児保育 補助対象
4月	4	10	14	15	14	14	71	0	61	7
5月	4	10	14	15	14	14	71	0	69	7
6月	4	11	14	14	14	14	71	2	64	7
7月	5	11	14	14	14	14	71	6	52	7
8月	5	11	14	14	14	14	75	4	49	7
9月	6	11	14	14	14	14	77	5	41	7
10月	7	11	14	14	14	14	79	28	70	7
11月	8	11	14	14	14	14	79	25	69	7
12月	8	11	15	14	14	14	79	28	69	7
1月	9	12	15	14	14	14	79	3	50	7
2月	9	12	15	14	14	14	79	1	58	7
3月	10	12	15	14	14	14	79	6	73	7
合計	79	133	172	170	168	168	910	108	725	84

② 職員数 (3月末状況)

クラス	園児数	常勤	パート				
			7 h	6h	4 h	2h	3 h
0歳児	10	2			1		
1歳児	12	2	1				
2歳児	15	2		1			
3歳児	14	1			1		
4歳児	14	1	1				
5歳児	14	1					
給食室		1		1	2		
延長保育							1
保育補助					1	1	1
用務							1
事務					1		
主任		1					
園長		1					

### ③ 実施行事

月	毎月実施（お弁当デー 身体測定 避難訓練 お誕生会）								
4月	入園進級式	0才児クラス交流会	中学入学おめでとう会	全体懇談会・友の会総会（対面）					
5月	1~2歳児クラス参観・懇談会	4才児クラスワークショップ	5歳児クラスワークショップ	眼科健診					
	グランドパパママ行事	保護者アンケート							
6月	創立記念のつどい	耳鼻科健診	小児科健診	歯科健診	3~5歳児クラス参観懇談	子ども			
7月	プール開き	5歳児クラス平和行進参加	3園年長交流	5歳夏合宿					
	お里帰り保育	太陽の子まつり	考える集会	熊本合研参加	5才児個人懇談				
8月	幼児クラスプール参観	銀河ワークショップ							
9月	星空保育（4~5歳児）	宇ワークショップ	平和のつどい	4才児個人懇談	実習生受け入れ				
10月	運動会	5歳ワークショップ	0~3歳児クラス懇談会	西園田親子まつり	3園年長交流				
11月	小児科健診	グランドパパママ行事	5才児ワークショップ	4歳児ワークショップ	オールあまっこ交流				
	トライやる受け入れ	実習生受け入れ	人形劇鑑賞（幼児）						
12月	宇宙ワークショップ	年長交流	交通安全教室	4~5歳雪あそび	人形劇鑑賞（乳児）				
	グランドパパママ行事	幼保小連携交流							
1月	3歳ワークショップ	新年のつどい「若駒」							
2月	3~5歳クラス懇談会	給食室の先生とお話会							
3月	卒園と成長を祝う会	お別れ遠足	グランドパパママ行事	0~2歳クラス懇談会	5歳児ワークショップ				

### ④ 保育実践

杉の子とけま太陽の子からの保育士の異動と、以前勤務していた職員に戻ってきてもらって保育体制をスタートさせました。大きなところの理念は理解し合えているので、新しいなかまを迎え、安心して新年度を始めることができました。

0才児クラスは4月は4人で始まり、夏以降徐々に新入園児の受け入れができ、3月時点で10人まで増えました。10人中兄弟児等繋がりのある家庭は8人で新しい家庭は2家庭でした。

1才児は3名増でした。育休明けでの入園希望が多いのでどうしても、途中入園が増えます。また一時保育からの入園もありました。

食育は、給食室と園内の食育委員会が中心になって進めています。毎月の担当を決め、計画的に実施できました。職員全体で取り組むことで全体の意識が持てました。年度末に次年度の2ヶ月分を計画しておくことで立ち上がりを早くするようにしていきます。

栄養士とお話する会を開催し、お茶とおやつを用意してほっとしながら話が弾み、保護者の悩みや、疑問に触れて職員も勉強になりました。

平和のつどいは、保護者参加で開催ができました。保護者向けには、語り部の方をお呼びして戦争体験を聞いてもらいました。淡々と語られる内容に、皆さん聞き入っていました。

年長クラスが、それまで絵本等を通して話し合ってきた子ども達の平和への思いを言葉にして、紙芝居「平和ってなに？」を作り、それを保護者に朗読してもらいました。大人も巻き込んで取り組みができたことは、子どもも保育士も自信につながりました。園としてこれからもこだわっていききたい行事です。

3園の年長クラス交流会では、けま太陽の子近くの畑で季節ごとに収穫体験と虫捕りをさせてもらい、複数回、交流の機会がもてました。夏合宿は3園が同じ宿舎で過ごすことで自然な関わりができ、交流がより深まりました。

運動会は暑さ対策のため、初めて保育園(0~1才児)と小学校校庭(2~5歳児)に分かれて開催しました。

0~1才児は練習も含めて園のホールで実施しましたが、慣れている場所なので、不安にならずにいつもの姿を見て頂けました。

保護者からも肯定的な感想が寄せられました。

2~5才は小学校なので、できるだけコンパクトにして負担のないようにし、公園での練習も、打ち合わせを丁寧にして効率よく進めました。熱中症対策は大人も含めて細かく対応しました。

幼児の保護者には乳児の姿を見て頂けなかったのが残念ですが、暑さ対策はこれからもっと、工夫が求められる課題だと思います。

異年齢保育の年間計画を立て、テーマを決めて取り組みました。

配慮の必要な児童の対応では、異年齢保育を通してクラスの枠を越えて見守ることで、困りごとが起こった時の対応を職員集団で検討できました。

#### ④ 子育て支援

0才児クラスの保護者の懇談会を4月当初の慣らし保育期間に計画し、一緒に遊ぶ時間をつくったり保育士や他の保護者と話す中で、不安を和らげることができたと思います。

クラス参観と懇談会を同日に設定することで、懇談会に参加しやすくなり、子ども達の姿を見た直後の懇談なので、感想も含めて話しやすい雰囲気となりました。また保育士への負担も減らすことができました。

5歳児クラスの個人懇談だけでなく、4才児も全員することで、日頃ゆっくり話せない保護者から想いが聞け、やはり聞くことが大切だと感じました。また子ども同士のトラブルや、悩みがあった場合、迅速に対応をするようにしてきました。必要に応じて保護者対応のケース会議を持ってきました。また、兄弟がいる場合、そちらの担当にも伝えるか同席し、共有するようになりました。

太陽の子まつりを、コロナ前のように、土曜日に開催しました。会場も近隣の公園で計画していましたが、7月の開催で、予想以上の暑さの為、残念ながら保育園に変更しました。平日ではないので、参加は昨年よりも多かったのですが、やはり公園で開催していた頃よりも少ない状況でした。

土曜日なので保護者のお手伝いをお願いしやすく、お父さんチームで、かき氷屋さんを担当してもらい、和気あいあいとした雰囲気になりました。

保護者に向けてアンケートをお願いしました。励みになることもたくさん記入して頂きましたが、改善点の提案について、職員で検討しました。すぐに見直しのできることに、伝え方の注意や、引き続き検討していくことができました。自分たちの振り返りになるので貴重な意見でした。

#### あそぼう会

月・木曜日に開催、地域の子育て応援事業も広がってきているので、他の所へ行きつつも、こちらの取り組みを楽しみにしているようです。特にクッキングやイベントは人気があり参加が多いです。

お弁当を持って来て、あそぼう会後にホールで食事して過ごすのも定着してきていつも数組います。顔なじみになり、仲良しグループができるのはいいのですが、「輪に入りづらい」という声も聞かれたので、こちらがつかないでいく役割を意識するようにしています。

離乳食や子どもの育ちについての相談もあり、具体的な例を挙げて応じるようにしていきました。

アンケートを取ってみると、友だちからの紹介が一番多く、口コミの根強さがわかりました。また、意外とポスターや「保育園を通りかかって」というものもあり、アナログも生きていました。これらを参考にチラシ・ポスターを再度つくり、配布しました。

## ⑤ 研修

### 各研修参加数

全国保育団体合同研究集会	16人	兵庫の保育を考える集会	12人		
兵保連セミナー	12人	法人内研修	12人	経営懇セミナー	1人
主任セミナー	1人				
法人園会研修	7人				

職員会議では、ミニ学習を入れていきました。毎回、保育内容や情勢、研修などで学んだことなど、読み合わせをして感想を出し合いました。

法人内研修では、杉の子の園庭作りがきっかけで、兵保連の増田さんから「地域の中での保育所の役割」について講演してもらい、久しぶりに3園で集まったの研修ができ、同じ中身を聞いて共有でき感想も出し合えて有意義なものになりました。

また、計画したいと感じました。

# 2024年度 けま太陽の子保育園 事業報告

## ① 児童数 一時保育利用者数 延長保育利用者数

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計	一時 延べ数	延長保育	
									実数	/延べ数
定員数	6	9	9	12	24		60			
4月	2	12	12	12	29		67	25	12	47
5月	2	12	12	12	29		67	30	14	54
6月	2	12	12	12	29		67	34	16	57
7月	2	12	13	12	29		68	38	18	76
8月	3	12	13	12	30		69	20	17	45
9月	5	12	13	12	30		71	14	17	69
10月	5	12	13	12	30		71	39	18	73
11月	5	12	13	12	29		71	24	20	80
12月	8	12	13	12	29		73	3	17	51
1月	8	12	13	12	29		73	6	20	75
2月	8	12	13	12	29		73	8	16	65
3月	8	12	13	12	29		73	3	17	79
合計	58	144	153	140	322		843	124	202	771

## ② 職員体制（3月末状況）

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	園長/主任	給食	合計
正規	1	2	2	1	1	1	1/1	1	11
非正規7h	2			1					2
非正規4h	1	1			1				3
延長3h	1								1

延長保育1名（4h） 補助（5h）1名 用務（3h）1名 調理補助午前2名（4h）午後1名（3h）

## ③ 行事

毎月：誕生会 お弁当日 身体測定 避難訓練

月	行事	月	行事
4	進級・入園式、人形劇 父母の会&友の会総会	10	運動会 親子まつり 1才児～4才児個人懇談
5	1才児保育参加&懇談会、3才児保育参加&懇談会、 5歳児保育参加&懇談会、眼科健診	11	4、5才児遠足、小児科健診、 園田小学校5歳児交流、オールあまっこ5歳児交流
6	4才児保育参観&懇談会 2才児保育参観&懇談会 創立まつり、小児科健診、グランドパパ&ママ、	12	星のまつり、冬季休園
7	プール開き、平和行進、夏合宿（5歳児）、保育体験（小学生）	1	各クラス懇談会 おもちつき
8	5才児個人懇談	2	
9	平和まつり	3	卒園と成長を祝う会、グランドパパ&ママの会、 移動動物園、けまパーク、中学生のつどい

#### ④ 保育実践

- ・季節と行事の在り方について

年々増していく猛暑を見据えて、これからの行事やそれらに伴う内容の見直しを図りながら過ごしてきました。特に夏のプールや水遊びは気温が上がる前に始めて高温になる時間には部屋に入り過ごすなど工夫をしました。秋の運動会では当日を迎えるまで公園で運動遊びを行うのですが残暑が厳しいため保育室を中心に取り組みました。このことにより子どものみならず保育士の身体の負担も軽減し余裕をもって過ごすことができました。行事当日もできるだけ短時間で楽しめるように体育館と併用し余裕をもって行うことができました。次年度はもう一度同じような流れで取り組みながらさらに改善していける点を模索していこうと思います。

#### ⑤ 子育て支援

- ・新設園建設と乳幼児減少

近隣の大きな保育園が数件建設したこともあり子育て支援「あそぼう会」に参加する親子の人数も減りました。開催日であっても参加者0人の時も続き、宣伝方法の見直しに加えて保健センター、地域子育て拠点事業所との連携を密にし、徐々に参加人数を増やしていくことにつなげていきました。

一時保育は就労による定期利用が減少し、リフレッシュでのスポット利用が増えたのですが延べ人としては減少となっています。

#### ⑥ 研修

兵保連春セミナー16名 兵庫の保育を考える集会 16名 全国合同保育研究集会 16名  
法人保育園会 10名 経営懇 1名 全障研1名

合研では3名開催地福島へ行き現地の人や兵庫県内の参加者同士の交流ができました。

リモートでは「保育所と災害」をテーマにした分科会に職員が参加し様々な災害に対して保育所や自治体の在り方を学びその年度の情勢学習会にもつなげていくことができました。

今年度は保護者との学習会を数回持つことができたかと準備を進めてきましたが1回にとどまったため来年の課題となります。

## 2024 年度 さんぽ支援センター 事業報告

2024 年度は、常勤の谷詰が、産休育休のため不在でのスタートとなりました。

長期休暇のため、移動・居宅の管理者、日中・短期の管理者を変更しなければならず、事務手続きの必要性がありましたが新管理者はもとより、事務職員やヘルパーとともにみんなで実務や支援をこなしてきました。

職員体制の変更等で、利用者への支援が入れず利用が落ち込むは部分もありましたが、年度後半は支援が少しずつ回復傾向にあります。

### 実施事業について

#### \*移動支援

利用者が 26 名でしたが、家庭の事情や 65 歳を迎え介護への切り替えなどで 4 名減になり、新規 2 名で現状 22 名です。今ご利用の方が時間数を増やしたいと申し出があったり、85 歳の方が介護では移動支援がないので探していると問い合わせがありました。どこの事業所もヘルパーが減っていて移動支援が入れなくなっているそうです。ヘルパーを確保しつつ、支援に応えられるよう努力していきたいです。利用者はコロナが落ち着いてきて、お出かけの行き先も遠出が増えたり、カラオケ・映画など余暇活動が充実してきています。余暇の楽しめるものを提案しつつ一緒に考えていきたいです。

#### \*居宅支援

利用者は減りましたが、ご家族の負担が少しでも軽減できるように、そしてご本人の思いや行動を尊重して取り組んでいきます。信頼関係を築く大切さは、やはりポイントです。

#### \*日中一時

利用者は毎月 3 名から 4 名です。最近夏休みなど長期休暇の時に利用したいと問い合わせが増えています。実施事業所が少ないこともあり、働いている保護者には切実な問題です。常駐スタッフが対応していますが、朝 8 時からの利用希望の際には人手がありません。今後の課題です。

#### \*短期入所

2024 年度は、前半現状変わらずでしたが、少しずつ利用日が増えています。定員 4 名のところ埋まることが少なく、人数を増やしたいと新規開拓中です。

### 人材育成と研修

支援優先のため、学習会は土日の取り組みなのでヘルパー参加は難しいですが、障害福祉の事業を進めていくための大切な考え方が学べる場ですので、これからも法人内の研修や全国団体の研修を知らせていき参加を呼びかけます。参加した方から報告書をもらい、共有していける場を作ります。

## 保護者対応

\*個別支援計画にもとづいて個別面談をしました。

今ダブル介護されている保護者が増えてきています。さんぼ支援センターに対しての要望も受け止めながら、ニーズにあった事業所となるように、いつでもなんでも相談していただけるような雰囲気を持ち、すぐに対応できるようにしていきたいです。

## 運営の改善

さんぼ支援センター会議を月1回定例で実施してきました。その都度の問題点に速やかに答えることができています。急な変更やキャンセルの時の対応で、緊急携帯を持つようにしたことで、スムーズになりましたが、緊急でないときも連絡される方もいて、改めてルールの見直しが必要です。

## 他事業所とのかかわり・運動のかかわり

\*他事業所とのかかわりは、利用者のモニタリングを計画相談員の方が定期的に電話ですが聞き取りがあります。その後利用者がサインされた計画書が送られてきますので共有させていただいています。支援の充実や広い視野での気づきがあります。利用の問い合わせも、相談員を通じてありますので、今後も丁寧に対応していきたいです。

\*運動とのかかわりは、兵障協・全障研があります。

まだまだスタッフどまりになっていますが、ヘルパーにも広げていきたいと考えています。

各事業の利用者数・実績

移動支援		居宅		日中一時	短期入所
利用者 22	男性 14	家事 2	通院	男性 2	男性 11
	女性 10	身体 2		女性 3	女性 6
実績時間数	月平均 275 時間	月平均 17 時間		月平均 4 日	月平均 54 日
ヘルパー	12 人	3 人		2	6

毎月	さんぽ職員会議 支援センターだより発行	避難訓練 利用者だより発行
月	全体	利用者・保護者
4 月	尼崎市短期入所会議	毎月 キッチン 9 個別懇談 個別支援計画の説明 書面で対応する
5 月	短期入所担当支援員会議 ゴキブリ駆除	
6 月		
7 月		
8 月	全障研参加	
9 月	尼崎市短期入所会議	さんぽフェスタ
10 月	ヘルパー会議	
11 月		
12 月	尼崎市短期入所会議	
1 月		
2 月	きょうされん署名の取り組み	
3 月	消防設備点検	さんぽフェスタ